

岡崎女子短期大学

平成18年度第三者評価
機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

岡崎女子短期大学の概要

設置者	学校法人 清光学園
理事長	中垣 洋一
学 長	永田 靖章
A L O	長柄 孝彦
開設年月日	昭和40年4月1日
所在地	愛知県岡崎市中町1-8-4

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
経営実務科		100
幼児教育学科第一部		200
幼児教育学科第三部		75
人間福祉学科		80
	合計	455

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

専攻	入学定員
幼児教育学専攻	10
	合計 10

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

岡崎女子短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成17年7月4日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現および教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

各学科とも教育課程は体系的に編成されており、十分な免許・資格などの取得への配慮とその実績は高く評価できる。また、充実したシラバスのもとに、たえず授業内容や教育方法に改善の努力が行われている。

教員数は、短期大学設置基準の規定を充足している。バランスのとれた年齢構成のもとに教員の採用や昇任も適切に行われており、各教員はすべての業務に意欲をもって臨んでいる。また、教育実施にあたる責任体制も整備されている。校地面積をはじめ、講義室、演習室、実験・実習室も充分であり、教育環境は整備されている。

教育課程内における資格取得に関しては十分な実績を上げており、それが結果として高い専門職への就職率につながっている。

入学に関する支援、学習支援、学生生活支援、進路支援については適切に実施されている。

教員の研究活動は、活発に行われており、研究業績を上げている。

短期大学としての社会的活動および学生の社会的活動は、活発に推進されている。

理事会などの学校法人の管理運営体制は確立されており、教授会に関しても学則の規定に基づいて適切に運営されている。

財務運営については、おおむね適切に行われている。財務体質も健全に推移している。

平成6年に自己点検・評価のための規程および組織が確立され、以後自己点検・評価を継続して実施している。

2. 優れていると判断される事項等

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 教育の内容

専任教員が年1回授業公開を実施し、「教員相互の授業公開結果の報告書」を作成している。

評価領域 学生支援

生活習慣、食生活などに関する調査を実施し、両者をリンクさせ効果的な学生健康指導を目指している。

社会人学生の入学金の半額を免除している。

ノートテイクシステムやリアルタイム音声文字変換表示システムを導入し、障害のある学生への補助を行っている。

評価領域 研究

科学研究費補助金をはじめとする外部からの研究に対する補助金の獲得が多く、研究が活発である。

評価領域 社会的活動

岡崎大学懇話会、「岡崎市民カレッジ」サテライト・オフィス講座、「21世紀交流サロン・葵丘」など、さまざまな地域社会との交流活動を活発に行っている。

評価領域 財務

さまざまな学内の意見を取入れながら、中・長期計画を策定し、財務の安定性を目指している。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

学科によって、「目標」、「理念」、「方針」など用語の不統一がみられるので、その整合性を図ることが望まれる。

評価領域 教育の内容

授業担当者間での意思の疎通、とりわけ専任教員と非常勤講師との意思疎通や協力体制を確立することを望む。

評価領域 教育の実施体制

国立国会図書館や他大学の図書館などと相互利用できるシステムの導入が望まれる。
幼児教育学科第一部の入学定員超過の状況を改善し、適切な教育条件の保全に留意されたい。

評価領域 学生支援

専門のカウンセラーを配置するなど、メンタルケア体制の充実が望まれる。

評価領域 研究

教員が自由に印刷機などを利用できる研究施設などの整備が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神は、各種印刷物に示されている。しかし、建学の精神と教育理念をもう少しわかりやすい表現にすることが望まれる。

各学科とも教育目的・教育目標は明確であるが、履修要項において、学科により「目標」、「理念」、「方針」などの用語が不統一のまま使用されている。教育目的・教育目標についての点検は、定期的ではなくカリキュラム改正の際に限って行われている。ただし、その手続きは適正である。

学生や専任教職員に対する教育目的・教育目標の周知はなされているが、兼任・兼任(非常勤)教員に対しては不十分である。また、教育目的や教育目標を実現し共有するための具体的な施策についての議論する機会を持つことが望ましい。

評価領域 教育の内容

各学科とも、教育課程に建学の精神が反映され、その内容も教育目的や目標に基づいており、教養教育への取組みもなされ、教育課程は体系的に編成されている。また、教育課程改善への意欲がみられる。

各学科の教育課程にはそれぞれの学科にふさわしい免許・資格などの取得への配慮がなされており、授業形態も適切であり、必修と選択のバランスもとれている。また、各学科の授業内容に応じたクラス規模はおおむね適切であり、卒業要件も妥当かつ学生にわかりやすい表現である。しかし、学生のより多様なニーズに応えるために、教育課程外の資格取得に対する指導に工夫が求められる。

シラバスは、必要にして十分な項目が網羅されており、授業内容、教育方法および成績評価などが学生に明らかになっている。

学生による授業評価を毎年実施し、その集計結果が各教員にフィードバックされ、各自が自己点検・評価報告書を作成していること、年1回であるがファカルティ・ディベロップメント(FD)研修会や授業公開が開催されていることから、授業内容や教育方法に改善への努力が認められる。

評価領域 教育の実施体制

教員組織は、いずれの学科も短期大学設置基準で規定する必要教員数を充足している。教員の採用や昇任も適切に行われており、各教員はすべての業務に意欲をもって臨んでいる。教員の年齢構成についてもバランスが取れている。教員の採用、昇任は、当該短期大学教員資格審査委員会規程、当該短期大学教員資格審査に関する内規、教員の採用に関する資格基準に基づいて実施されており適切である。また、教育実施にあたる責任体制は、運営組織図に示されている通り、各学科、教務部長、学長、理事会の流れで整備されている。

校地の面積は短期大学設置基準の規定を充足しており、かつ、適切に整備され、快適な環境を維持している。また、講義室、演習室、実験・実習室も充分であり、パソコン教室は、十分な台数の設置と整備がなされている。

図書館の蔵書数、面積などのハード面では水準を充たしている。しかし、購入図書選定システムや廃棄システムは確立しているとはいえない。サービス体制で改善のための努力の姿勢がみられるが、学外の図書館との相互利用活動など、今後の取組みが期待される。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定や学習評価は、各学科ともおおむね適切に行われている。教育課程内における資格取得は十分な実績を上げており、教育目標を達成するための努力がみられる。

専門職への就職の割合は高い水準を示している。しかし、就職先や編入先からの卒業生の評価の聴取に関しては特定の学科が部分的に行っている程度であり、制度的、組織的な取組みがなされていない。

評価領域 学生支援

入学志願者には、『大学案内』および口頭で、建学の精神や教育目的・教育目標などが知らされ、『学生募集要項』においてすべての入試制度がわかりやすく説明されている。

また、広報もしくは入試事務の体制も整えられており、入学試験の流れは公正かつ正確に実施されている。入学手続き者に対する授業や学生生活についての情報も適切に提供されており、入学後のオリエンテーションも充分になされている。

学習支援は、入学時のオリエンテーションが基本となっており、その後の個別的ケースについては、教職員が一丸となってあたっている。進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援も適切になされている。

学生生活を支援する教職員の組織として、教員においては学生委員会、職員においては学生課職員が相互に協力して学生生活の支援をしている。また、学生が主体的に参画する活動に対する支援体制も確立され、キャンパス・アメニティ、通学のための便宜、経済的な支援、健康管理など、いずれも適切な配慮がなされている。

就職支援のための教職員の組織が整備され、各種の就職支援活動が展開されている。学生に専門就職をさせるため適切な資格取得に腐心し、各学科とも極めて高い割合で専門職への就職を果たしており、専門職への就職は万全といっても過言ではない。就職希望の学生だけではなく、進学や留学を希望する学生に関して組織的、制度的サポートが期待される。

多様な学生に対する特別な支援は、該当する学生数が少ないこともあり、おおむね現状は適切である。ただ、積極的に多様な学生を受け入れる体制を検討する余地は残されている。

評価領域 研究

教員個人の論文発表、学会発表など、研究活動が活発であり、その状況は適切に公開されている。科学研究費補助金などの申請と採択も着実に増えている。また、共同研究の成果も充分である。

研究活動の活性化のために、研究費は一般研究費および個人研究費が支給され、課題研究費が研究計画に基づいて支出されており充分である。また備品、図書類、研究室、研究日などの研究環境は、いずれも適切である。

評価領域 社会的活動

短期大学の果たすべき重要な使命の一つとして、社会的活動を地域社会への貢献と位置づけ、地域社会に寄与する教育・文化活動を行っている。具体的には、地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放などを実施するのみならず、産・官・学の協調活動による新しい産業の創出、地場産業、地域文化の発展支援のための活動を展開しており、社会的活動への取組みが大いに推進されている。

学内の各種団体やグループが学科の特質をいかした社会的活動を高く評価し、一層の参

加を促す姿勢を示し、幅広く社会的貢献をしている。

短期留学は、夏期海外研修制度があり実績を上げている。長期留学生の派遣や留学生の受け入れに関しては、やや消極的である。海外教育機関との交流は、活発であり双方向的に継続しているが、教職員の留学、海外派遣、国際会議出席などは必ずしも活発とはいえない。

評価領域 管理運営

理事長は学校法人を代表してリーダーシップを発揮し、規程に基づいて理事会および評議員会が開催されていることから、学校法人の管理運営体制は確立されている。

短期大学の運営体制は、理事長および学長のリーダーシップのもとに、講師以上の専任教員で構成される教授会が学則の規定に基づいて開催されており、適切である。また、教育上の委員会も学長や教授会のもとに組織され、それぞれ適切な委員会規程に基づいて運営されている。

事務組織はおおむね整備され、事務処理のための情報機器・備品なども整っている。決裁規程に従って決裁処理が適正に行われ、セキュリティ対策も問題はない。ただし、長年にわたり業務組織規程の見直しが行われておらず、業務組織規程の改定が行われずまま業務処理委員会による事務組織などの変更が行われ、実際の業務内容との間にずれが生じている。

就業規則、給与規程などが整備され教職員へ周知されている。教員と事務職員との連携や、学校法人と教職員との協力体制についてもおおむね良好である。ただ、現実には事務職員の業務負担増、一部の教員における負担の偏重があり、各部署の人事構成を検討する必要がある。

評価領域 財務

財務運営については、おおむね適切に行われている。予算執行に関する書式、承認基準、支払、理事会報告についても適正に執行されている。

学校法人の経営状況を示す消費収支のバランスは均衡している。貸借対照表も健全に推移しており、財務体質が安定している。また、資金の維持のされ方や教育研究経費の配分も妥当である。

施設設備は規程により整備され、防災・防犯対策も計画が整備され、職員ならびに学生に周知され適正である。防災避難訓練が実施されていないことは問題であり、また購入備品の管理も規程に基づいて行われることが必要である。

評価領域 改革・改善

自己点検・評価の実施体制は確立している。自己点検・評価報告書は毎年刊行されており、全教職員、文部科学省を始めとする関係機関にも配布されている。

早い時期から自己点検・評価を実施し、その報告書を全教職員に配布していることから改革・改善に対する積極的な姿勢がうかがえる。

相互評価を実施したことはあるが、相互評価に関わる規程や組織の整備は不十分である。